資料２

南大沢スマートシティ協議会のこれまでの取組

＜令和2年度～令和7年度＞



MINAMI-OSAWA
SMARTCITY
PROJECT
南大沢スマートシティ協議会

令和8年3月

南大沢スマートシティ協議会

目　次

はじめに

南大沢スマートシティの概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・1
対象エリア ・・・・・・・・・・・・・・・・2
南大沢スマートシティ協議会のあゆみ（概要） ・・・・・・・・・・・・・・・・3
実施計画ver3の概要（ビジョンとコンセプト） ・・・・・・・・・・・・・・・・4
実施計画ver3の概要（テーマ別の基本方針と具体的取組） ・・・・・・・・・・・・・・・・5
具体的取組の実施状況一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・9
主な取組の概要等 ・・・・・・・・・・・・・・・・10
これまで実証・実装した主なスマートサービスＭＡＰ ・・・・・・・・・・・・・・・・14
南大沢アプリ ・・・・・・・・・・・・・・・・15
これまで取組の総括と今後の展開 ・・・・・・・・・・・・・・・・16

参考

関連する行政計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・17
協議会等の開催状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・18
南大沢スマートシティ協議会委員名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・20

MINAMI-OSAWA
SMARTCITY
PROJECT
南大沢スマートシティ協議会

はじめに

南大沢駅周辺は、多摩ニュータウンの中では比較的新しい地区で、1980年代以降、大学、広域商業施設等の立地が進み、現在では地区の内外から多くの人が訪れるにぎわいのある拠点が形成され、学術研究とまちづくりが連携するエリアになっています。

当地区は、令和元年に「未来の東京」戦略ビジョンで「スマート東京」先行実施エリアと位置付けられ、高低差がある地形での移動や荷物搬送の支援、回遊性・滞留性の向上、多様な文化・情報の交流できる場の創出等が課題として挙げられました。

こうした課題の解決を最新の情報技術・サービスを通じて実現するため、同地区の様々な産学公の関係者が参画する「南大沢スマートシティ協議会」を令和２年度に設立しました。その下に課題解決の具体的方法を議論する「モビリティ部会、まちの賑わい部会、情報・その他部会」を設置し、実現へのロードマップを示すとともに、数々の実証実験・実装事業を実施してきました。

この間、イベントやリビングラボを通じて地区の多様な皆様のご意見を伺ってきましたが、非常に有益で前向きな意見を多数頂きましたことに感謝いたします。この度、令和７年度までの６年間の歩みと取組を一旦総括し、皆様に報告することになりました。方式は変更になりますが、令和8年度以降も当地区におけるスマートシティ推進を継続し、更なるにぎわい創出や移動利便性の向上に取り組んでいきますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



令和８年（2026）３月　　南大沢スマートシティ協議会座長　　清水　哲夫

南大沢スマートシティの概要

【概要】
・南大沢駅周辺は、都立大学を始め商業施設や公共施設が集積し、学術研究と賑わい拠点が形成されている一方で、起伏が大きい丘陵地であるため、高齢者等の移動等が課題となっています。
・こうしたまちの課題に対し、将来の動向等を踏まえ、産学公が連携して新たなスマートサービスを実装することで、都民のQOLの向上を実現することが重要です。
・このため、令和２年２月、都は南大沢地区を始め都内５地区を先行実施エリアとした「スマート東京実施戦略」を策定・公表し、南大沢地区は「最先端の研究とICT活用による住民生活の向上が融合した持続可能なスマートエリア」を目指すこととしました。
・これを踏まえ、具体的な取組の検討と社会実装等を推進するため、同年10月、都は様々な関係者が参画する「南大沢スマートシティ協議会」を設立しました。

南大沢スマートシティ協議会（R2.10~）

○委員は、東京都、都立大学、八王子市、地元企業、団地管理者及び通信事業者など地域の多様な関係者で構成

（構成）

東京都公立大学法人東京都立大学	東京都	八王子市	八王子商工会議所
三井不動産株式会社	京王電鉄株式会社	株式会社イトーヨーカ堂	株式会社多摩ニュータウン開発センター
「元気な街」南大沢協力の会	NTTドコモ株式会社	KDDI株式会社	ソフトバンク株式会社
東日本電信電話株式会社	富士通株式会社	独立行政法人都市再生機構	株式会社ベスプラ
東京都住宅供給公社			

（2026年３月現在）

＜モビリティ部会＞

（役割）
移動の視点から南大沢の課題を検討・解決し、誰もがアクセスしやすい南大沢の実現を目指す

◎部会長：都立大 清水教授
◎アドバイザー：都立大 小根山教授

＜まちの賑わい部会＞

（役割）
駅前と周辺地域を繋ぐことで人々の流れを活発化させ、多様な交流と連携を促進する機会や場の創出を目指す

◎部会長：都立大　岡村准教授

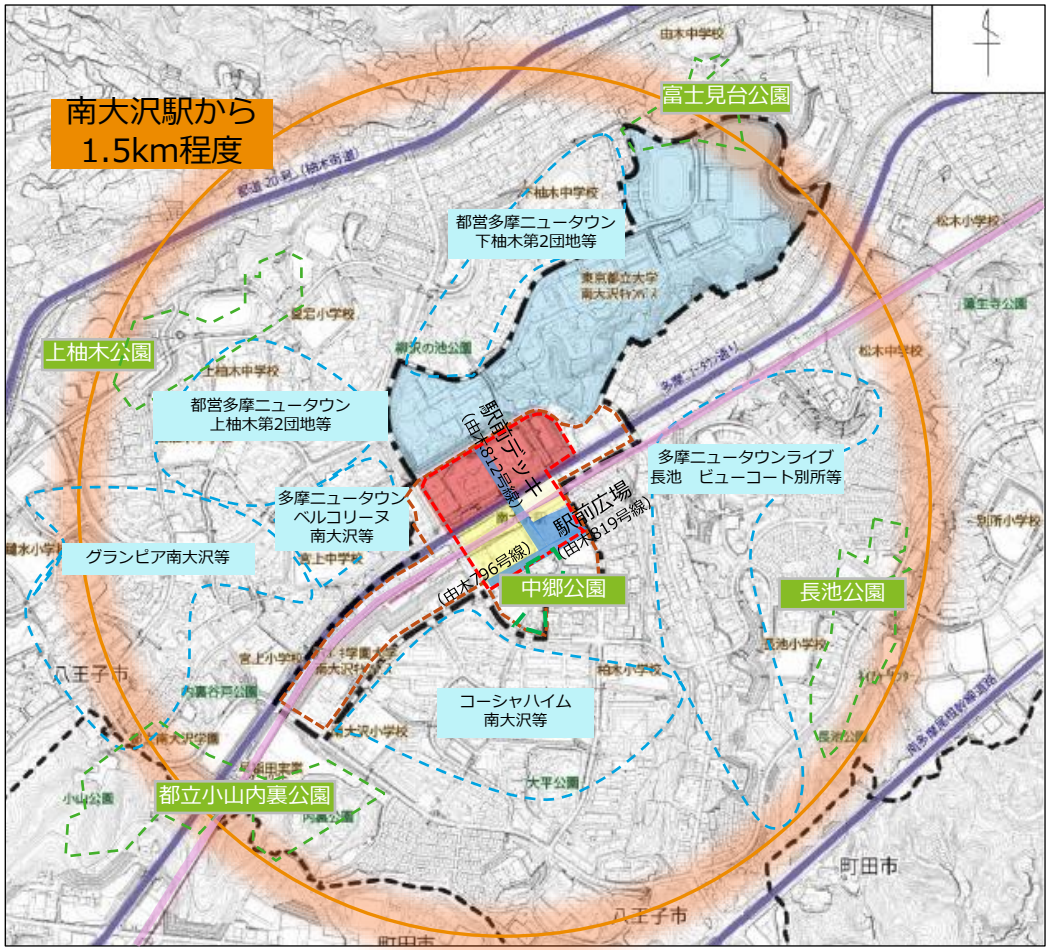
＜情報・その他部会＞

（役割）
モビリティやまちの賑わい等のサービスを支える汎用的なインフラ基盤の実装を目指す

◎部会長：都立大 石川教授
◎アドバイザー：都立大 相原教授

対象エリア

- 対象エリアは、駅周辺に存する公園等の南大沢を象徴する地域資源や住宅団地を含むエリア（1.5km程度）です。
- エリアの核となる駅直近エリアには、駅から交通広場や歩行者デッキへと繋ぐペデストリアンデッキが存在し、イベントなどが行われているほか、憩いの空間としても活用される街のシンボルロードがあります。また、デッキ沿いには映画館やアウトレットモールを含む商業施設、クリニックモール、学習施設などの生活施設が集積し、南側エリアには公共施設や公園、北側には東京都立大学が立地する、多世代が行き交うエリアです。





凡　例

南大沢駅周辺地区	住宅団地エリア
市界	公園
都有地	市道
㈱多摩ニュータウン開発センター所有地	都道
東京都立大学	京王線
重点整備地区（南大沢駅周辺地区まちづくり方針）	南大沢センター地区

出典）国土地理院「国土地理院HP　地図・空中写真閲覧サービス」、八王子市「八王子市HP」、東京都公園協会「東京都公園協会HP」を基に作成

南大沢スマートシティ協議会のあゆみ（概要）

- これまで、南大沢スマートシティ協議会では、先端技術を社会実装し、「スマート東京」及び「南大沢駅周辺地区まちづくり」を具現化するため、令和２年度、方向性を整理した実施計画（Ver1）を、令和３年度には計画を深度化した同Ver2を、令和４年度末には、これまでのまとめとして、南大沢スマートシティ実施計画（Ver３）を策定しました。
- この実施計画に基づき、令和５～７年度まで、スマートシティFESやリビングラボ等、住民や来街者参加型の活動も行いながら、自動配送ロボットなどの新モビリティやまちの賑わいにつながる様々なサービスの実証や実装などに取り組んできました。

時　期	実施計画・総括	主な取組	検討体制
《令和２～４年度》	**〈実施計画の策定〉** ・Ｒ２(Ver1) ～計画の方向性の整理～ ・Ｒ３(Ver2) ～計画の深度化～ ・**Ｒ４(Ver3)** **～計画の深度化・まとめ～**	►地域課題の検討 ►実施計画の検討と策定 ►社会実証の実施 ►ワークショップなどの実施	●協議会 ・事務局：都 ●部会 ・交通 ・賑わい ・情報その他
《令和５年度》	**実施計画を基に推進**	►地域課題の検討の深度化 ►社会実証の実施 ►スマートシティFES開催 ►リビングラボの開催	●協議会 ・事務局： ㈱多摩ニュータウン開発センター ●部会 ・交通 ・賑わい ・情報その他 ※横断的な検討を進める合同部会を開催 ※地域関係者とサービスの深度化を図るリビングラボを開催
《令和６年度》		►地域情報アプリの検討 ►新モビリティ体験会実施 ►リビングラボの開催	
《令和７年度》	〈取組総括〉 ・6年間の活動報告	►地域情報アプリの開発 ►自動配送ロボット実証 ▷新モビリティの実証支援 ►リビングラボの開催	

実施計画ver3の概要（ビジョンとコンセプト）

現況

地域のニーズ（アンケート・ワークショップ等）

将来動向・計画

課題

ビジョン

“新しさ”“優しさ”“賑わい”のある
リ・ニュータウン

コンセプト

“新しさ”

～新しい技術を活用したスマートなまち～

産学公民連携により、先端技術を活用したイノベーションが生まれるまち

“優しさ”

～人と環境に優しい憩えるまち～

周辺の緑豊かな自然環境を活かし、環境に配慮した先端技術を誰でも体験できるまち

“賑わい”

～多様な人々が交流し賑わう多様性のあるまち～

既成市街地・資源と先端技術が融合し、世代を超えた多様な交流や賑わいを促進するまち

住民	来街者	大学	事業者	行政・公的機関
持続的に新しいサービスを享受するだけでなく、積極的に参画し地域と世代・立場を超えて繋がり、街への愛着が醸成され、生活の質が向上している状態	自然・生活文化・歴史を体感し、常にアップデートされる街にわくわく感を抱き、街に積極的に訪れ、住みたいと思う状態	大学研究や学生生活を通じて、まち・人との繋がりを持ち、大学と街の関わりが深まり、ともに発展している状態	実験フィールドとオープンデータ、大学研究が活用可能であり、既存事業者のサービスが高度化すると共に、新たに生まれた事業者も定着し街とともに成長している状態	住民・大学・事業者と連携して、すべての人に寄り添いながら、新たな暮らしや先進的な取組を支えている状態

基本方針

交通（モビリティ）

- ラストワンマイルの確保
- エコでかつ多様な移動ニーズへの対応
- リアルタイムな交通情報
- 既存交通を維持する技術の活用

まちの賑わい

- まち全体の情報発信
- 効率的な買い物、物流サービス
- 地域資源の最大限活用
- 地域コミュニティの形成・支援

情報

- 多様なサービスを実現するオープンデータの活用
- サービスの価値を高めるデータ連携

その他

- 新たな働き方や多様なライフスタイルを支える職住学の環境づくり
- 低炭素で自立分散型エネルギー環境づくり
- 新技術を活用した災害に強いまちづくり

実施計画ver3の概要（テーマ別の基本方針と具体的取組）①

交通（モビリティ）

まちの賑わい

情　報

その他

基本方針	具体的取組
ラストワンマイルの確保 • ラストワンマイル解消 • 住宅団地から駅・バス停でのアクセス交通の確保 • 丘陵地の高低移動の負担軽減	■ 自動車いす ■ 電動シェアサイクル ■ 電動キックボードシェアリング
エコでかつ多様な移動ニーズへの対応 • 利用者に応じた最適な移動手段の確保 • 横移動による効率的な移動の確保 • 環境に配慮した移動手段の確保	■ 超小型モビリティ/グリーンスローモビリティ ■ AIデマンドバス/サービス付帯タクシー ■ ICT対応パーク&ライド ■ EVカーシェアリング
リアルタイムな交通情報 • 鉄道とバス・タクシー・自転車等の円滑な乗換 • 移動サービスの高度化	■ MaaS ■ 公共交通情報等の可変案内板
既存交通を補完する技術の活用 ・交通サービスの低下への対応	■ 自動運転バス ■ 自動運転タクシー ■ 自動運転バレーパーキング

令和７年度までに実施済

実施計画ver3の概要（テーマ別の基本方針と具体的取組）②

交通（モビリティ）

まちの賑わい

情　報

その他

基本方針

まち全体の情報発信

- 街案内等の情報発信によるアクセス向上
- 遠方からの来訪者の取り込み
- 消費者志向の変化の把握

効率的な買物、物流サービス

- 個人のニーズに応じた情報や快適な買物サービスの提供
- 駅前及び周辺地区における効率的な荷物搬送・物流環境の整備

地域資源の最大限活用

- 外出を促進する回遊性・滞留性の向上、まちの賑わいの創出
- 地域の公園や空き店舗の有効活用

地域コミュニティの形成・支援

- 多様な交流や連携を促進する機会や場の創出

具体的取組

- ■ 地域SNS
- ■ デジタルサイネージ
- ■ デジタルマップ

- ■ 駐車場の満空や場所等情報提供
- ■ アバターロボット
- ■ 無人店舗
- ■ 施設、店舗内の混雑情報提供
- ■ 追従自動運搬車
- ■ 無人宅配ロボット
- ■ 宅配ロッカー/ボックス
- ■ 共同配送

- ■ デジタルスタンプラリー
- ■ デジタルタイムセール
- ■ 地域ポイント
- ■ XR活用

- ■ 地域コミュニティサイト・スペース

令和７年度までに実施済

実施計画ver3の概要（テーマ別の基本方針と具体的取組）③

交通（モビリティ）

まちの賑わい

情　報

その他

基本方針

多様なサービスを実現する
オープンデータの活用

サービスの価値を
高めるデータ連携

- 個別サービス間での連携
- 安心で快適な多様で即時性のある情報の活用や高度化
- 高齢者をはじめ、全ての人が活用可能な情報端末での発信

- 産学公によるデータ利活用
- オープンデータの公開と活用

- ネットワークインフラの整備の拡大

- カメラ・センサー等のデータ収集のためのデバイスの整備

ＩＣＴインフラ基盤

具体的取組

インターフェース

- ■ 地域サービス統合アプリ
- ■ デジタルサイネージ
- ■ 3Dマップ

プラットフォーム（OS）

- ■ AI
- ■ データマネジメントプラットフォーム
- ■ ビッグデータ解析

通信・ネットワーク

- ■ 5Gアンテナ
- ■ LPWA（低コスト無線システム）

IoTデバイス

- ■ ビーコンセンサー
- ■ WEBカメラ
- ■ スマートポール

令和７年度までに実施済

実施計画ver3の概要（テーマ別の基本方針と具体的取組）④

交通（モビリティ）

まちの賑わい

情　報

その他

基本方針

新たな働き方や多様なライフスタイルを支える職住学の環境づくり

- 三密回避のための分散化

低炭素で自立分散型エネルギー環境づくり

- 低炭素で環境にやさしく安全安心な質の高い地域拠点形成

新技術を活用した災害に強いまちづくり

- 災害時に誰もが必要な情報を即時入手できる状態の構築

具体的取組

- サテライトオフィス等
- 遠隔教育

- 再生可能エネルギー等
- 地域エネルギーマネジメント
- ZEB等

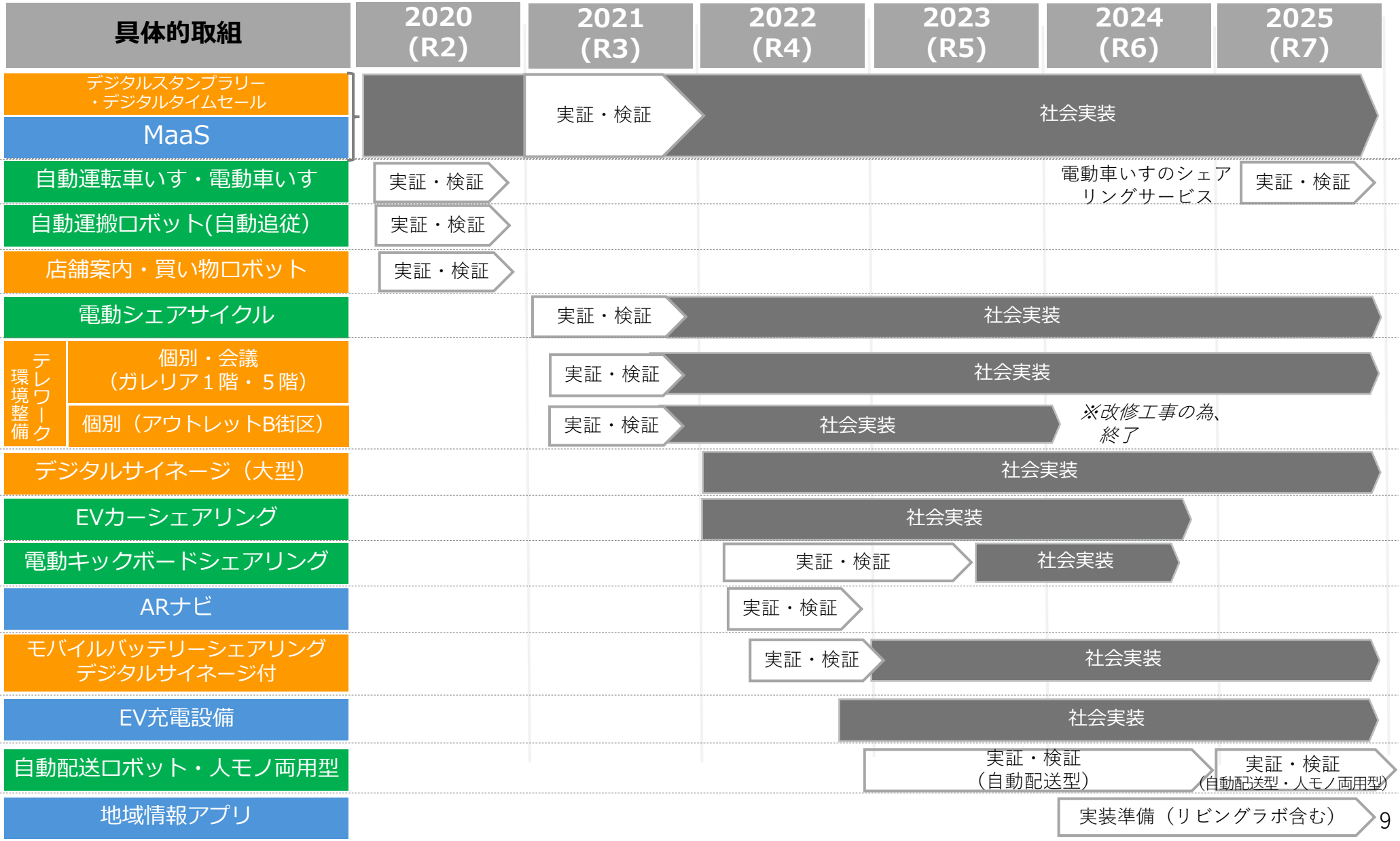
- ドローン配送
- 災害時の情報提供、案内誘導

令和７年度までに実施済

具体的取組の実施状況一覧

凡　例　モビリティ　賑わい　情報その他

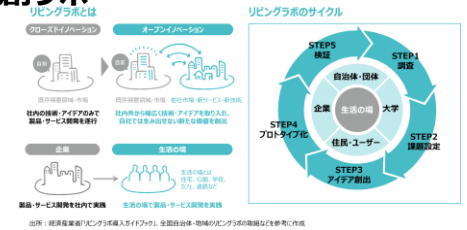
・実施計画に掲げた具体的取組について、協議会委員等と協力しながら実証や検証を進め、様々なサービスの社会実装を実現してきました。
・実施状況は、以下のとおりです。



主な取組の概要等（令和２～４年度）

	取組	概要	実施結果
R2	**〈実証〉** **歩行者ネットワーク、施設内での自動走行モビリティ実験** **商業施設での先端ロボット実験**	**【日時】**R２年３月15日～18日 **【場所】**MOP立体A駐車場5階屋上内・MOP商業施設内 **【内容】** ・施設内等における「自律走行モビリティ」等の実験・検証（自動運転レベル３・４） ・アンケートにより検証	**【参加者数】** 65人 **【実施結果】** ・自動車いす、自動運搬ロボットについては、駐車場や商業施設内、高齢者向けで評価が高い。 ・アバターロボットについては、施設の出入口や街中では駅前広場での案内で有効との評価が高い。
R3	**〈実証〉** **「めぐって遊んでトクして南大沢を楽しもう！」**	**【日時】**R３年11月1日～30日 **【場所】**南大沢駅約1.5km圏内 **【内容】** ・エリア内の回遊性向上による活性化を狙い、デジタルスタンプラリーやMaaS ・タイムセール情報の発信とセール商品が購入できるアプリ ・アンケートにより検証	**【参加者数】** スタンプラリー　837名（達成者数　215名） Webチケット購入者　166名 **【実施結果】** ・新たな来街の需要が促され、デジタルマップにより地域スポットの興味・関心喚起、スタンプラリー・シェアサイクルによる未訪問スポットへの訪問・回遊が実現された。 ・ｻｰﾋﾞｽ全体として、平均８割が「満足」「やや満足」と回答した。 ・事業者からは、費用負担を伴わない施策継続に対して前向きな反応が見られた。
R4	**〈実証〉** **「南大沢スマートシティウィーク」**	**【日時】**R４年11月25日～12月２日 **【場所】**南大沢駅周辺 **【内容】** ・南大沢スマートシティの取組を紹介 ・電動キックボードの試乗 ・デジタルサイネージの展示 ・ARナビゲーションの体験 ・各種モビリティ車両の展示・体験試乗会 ・アンケートにより検証 ※電動キックボードは2月15日まで、デジタルサイネージは3月末まで実証を継続し、アンケートにより検証	**【参加者数】** 約500名 **【実施結果】**　全実証期間を通じてのアンケート結果 （電動キックボード） ・９割がシェアリングサービスを利用してみたいと回答 （デジタルサイネージ） ・設置希望場所は、バス停・駅構内・車内などの交通施設関連、また商業施設が多数 （ARナビ） ・過半数の方が満足し、これまで行ったことない場所へ行く意欲が向上するとの回答は７割程度 ・今後期待できそうなルートは、イベントや災害時の避難場所への案内

主な取組の概要等（令和５年度）

	取組	概要	実施結果
R5	**〈実証〉 自動配送ロボット （LOMBY）** 	**【日時】**R5年10月10日～12月26日 **【場所】**南大沢駅周辺 **【内容】** 自動配送ロボットLOMBY による駅周辺店舗からのオンデマンドデリバリーのサービス検証 道路使用許可を申請して公道を走行（人が帯同）	**【実施結果】** ・実証結果を踏まえ、更に改良し、ロボットデリバリー協会の認証を取り、道路交通法上の「遠隔操作型小型車」として公道での走行を目指す。
	〈イベント〉 南大沢スマートシティ FES.2023 	**【日時】**R５年11月19日 **【場所】**パオレ４・５階 **【内容】** スマートシティ展示、電動キックボード、自動配送ロボット、ロボット・プログラミング、市・都立大展示等 来訪者にインタビューも実施	**【参加者数】** 約1,000人（推計） 【インタビュー結果】 ・各ペルソナに対して、南大沢の課題、訪れる場所などをインタビューし、各層（シニア、ファミリー、学生）の生活に合わせた課題を把握 ・駅周辺の利用施設については、各層で重複していることを把握
	〈リビングラボ〉 共創ラボ  	**【日時】**R６年２月２日 **【場所】**ベルコリーヌ南大沢　集会所 **【内容】** スマートシティの形成に向け、地元・企業・大学など多様な主体が意見やアイディアを出し合い、地域に根差したサービスを共創していく テーマ①　移動/交通（場内交通） テーマ②　買い物/レジャー（来街促進） テーマ③　地域内のつながり（コミュニティ形成）	**【参加者数】** 19名 **【実施結果】** ・交通：高齢者の移動課題や既存サービスの利便性などが主な課題として議論され、解決策としては周遊モビリティの整備やシェアモビリティの充電ポート増設などの案が挙げられた。 ・買い物/レジャー：魅力あるコンテンツの活用や情報発信が主な課題として議論された。解決策としてはコンテンツ活用が進む場づくりや、情報集約・発信の起点となるプラットフォームの整備が挙げられた。 ・地域内のつながり：町内会の機能低下、やる気のある方の協働機会不足などが課題として議論され、人材を活用しつつ地域の魅力・資源・人材を繋げるプラットフォームを整備する案などが挙げられた。

主な取組の概要等（令和６年度）

	取組	概要	実施結果
R6	**〈リビングラボ〉** **プレリビングラボ** **南大沢アプリ**  	**【日時】**Ｒ６年10月31日 **【場所】**パオレビル7階会議室 **【内容】** 地域情報アプリの機能や構成等の検討するに当たり、コンテンツやサービス等の具体的なリソースを保有するメンバー等で意見交換	**【参加者】** 協議会構成員及び関係者（地域情報発信者、交通事業者、地元事業者等）13名 **【実施結果】** ・主なターゲット／コンテンツ・機能／管理・運営方法 について、意見交換・ディスカッションを実施 ・各テーマにおける意見等を踏まえ、アプリの概略を引き続き検討することとした。
	〈イベント〉 **共創ラボ** **モビリティ体験会**  	**【日時】**Ｒ６年11月30日 **【場所】**パオレふれあい広場　他 **【内容】** 移動の利便性向上を目指し、既存の公共交通機関とも連携しながら、地域住民のニーズに応えられる端末交通手段を検討	**【参加者数】**（インタビューに回答いただいた方）101名 **【実施結果】** ・利用シーンでは、自宅から買い物や最寄駅までの想定が多くあった。また、20分前後の徒歩圏を超えた利用を想定している方が多くみられた。 ・今後の新しいモビリティに対しては積載機能や雨天対応できる機能及び操作のしやすさが求められており、歩道走行ができるモビリティを求める声が過半数を占めた。 ・自動運転は殆どの方が必要だと回答した。また、自動運転の利用者の想定は自分自身が利用したいという回答と、70代前後の家族の利用を想定したものが多かった。
	〈リビングラボ〉 **共創ラボ** **南大沢アプリ**  	**【日時】**Ｒ７年２月６日 **【場所】**パオレふれあい広場　他 **【内容】** プレリビングラボの議論を踏まえて事務局で整理したアプリ骨子を提示するとともに、主に地元のユーザー目線で、必要な情報や発信したい情報等を掘り起こす。	**【参加者】** ユーザー(暮らす人・学ぶ人・訪れる人)、地元情報発信者 計20名程度　＋　オブザーバー **【形式】** ワークショップ形式：３班（数名+ファシリテーター） 全体進行（事務局） **【実施結果】** ・主なコンテンツ／情報源／UI・UX／運営方法の各項目について、ユーザー視点及びオブザーバー参加の協議会委員としての視点から、多様な意見が出された。

主な取組の概要等（令和７年度）

	取組	概要	実施結果
R７	**〈実証〉 自動配送ロボット （LOMBY）** 	**【期間】**R７年５月19日～R８年６月 **【場所】**南大沢エリア **【概要】** セブン-イレブンのデリバリーサービス「７NOW」から注文された商品を自動配送ロボット「LOMBY」が自宅などの前まで配送	**【実施状況】** ・幅広い世代から利用され、特に子育て世帯等若い世帯からの注文が多い。 **【展開】** ・R7年５月19日　南大沢エリア2店舗で実施 ・R8年２月４日　南大沢エリア３店舗及び多摩市エリア１店舗に拡大
	〈実証〉 電動モビリティの シェアリングサービス （WHILL） 	**【期間】** R７年９月22日～R８年３月13日 **【場所】**JKKの２団地にモビリティを設置 **【内容】** 南大沢地区のJKK住宅の居住者による団地と駅前商業施設等との移動負担を軽減するため、免許不要の電動モビリティを活用したシェアリングサービス	**【対象団地】** ・トミンハイム南大沢東及びコーシャハイム下柚木三丁目 ・その後、対象団地周辺の都住団地やJKK団地等も追加 **【試乗会（R７年９月21日、11月９日）】** ・９月21日　17名参加　11月９日　11名参加 ・「思っていたより操作性がよい。」「健康のために今は利用は考えていない。」など様々な意見があった。 **【体験者数】** 延べ17名
	〈実証〉 人モノ両用型 モビリティ （LOMBY） 	**【期間】**R８年２月14日～２月27日 **【場所】**都営住宅２団地や駅前等 **【概要】** 新たに開発された人搭乗型の自律走行モビリティによる、都営住宅等と近隣コンビニエンスストア間の公道等走行	**【体験者数】** 延べ47名（アンケート42件） **【主な意見】** ・モビリティの機能や安全性に対する評価は非常に高かった。 ・「外出機会の増加や、コミュニケーションの活発化など、街全体の活性化に繋がる。」「高齢者や視力の弱い方にとって、移動の助けになる。」等の意見があった。
	〈リビングラボ〉 南大沢アプリ ・第1回共創ラボ ・第2回共創ラボ Webアプリの開発途中段階で、地域の方が体験し、いただいた意見を適宜反映 	**【日時】**R７年12月19日 **【場所】** 南大沢市民センター 会議室１ **【内容】** アプリのユーザー層である社会人や学生から、投稿機能の体験やアプリの利用シーン例の深掘りを通じてディスカッション **【日時】**R８年２月28日 **【場所】** パオレふれあい広場 **【内容】** 訪れた人にベータ版を実際に試していただき、今後のリリースに向けたPR等を実施	**【体験者数】** 第１回　17名　　第２回　72名 **【主な意見】** （第１回） ・絞り込みやカテゴリ整理、コメント機能等により、外部記事を探しやすく、理解しやすくしたい。 ・マップ機能は、見やすく、日常から非日常まで活用できる情報拡充を期待 （第２回）アンケート結果 ・９割以上が南大沢の情報を探しやすくなったと回答 ・プッシュ機能、通報や相談ができる機能、予約機能等の希望があった。 ・「複数のサイトを日々見に行っていたので、情報集約されてうれしい。」

これまで実証・実装した主なスマートサービスＭＡＰ

電動シェアサイクル



【主体】HELLO CYCLING
【時期】R3.10～
【概要】電動自転車のシェアリングサービス
【連携】ステーションの場所貸し・広報等

電動キックボードシェア　※終了



【主体】BIRD（BRJ）
【時期】R4.11～R6.12
【概要】電動キックボードのシェアリングサービス
【連携】ポート・設備の場所貸し・広報等

EVカーシェアリング　※終了



【主体】eemo
【時期】R4.4～R7.1
【概要】EVのシェアリングサービス
【連携】駐車・充電設備の場所貸し等

EV充電器設備（急速/普通）

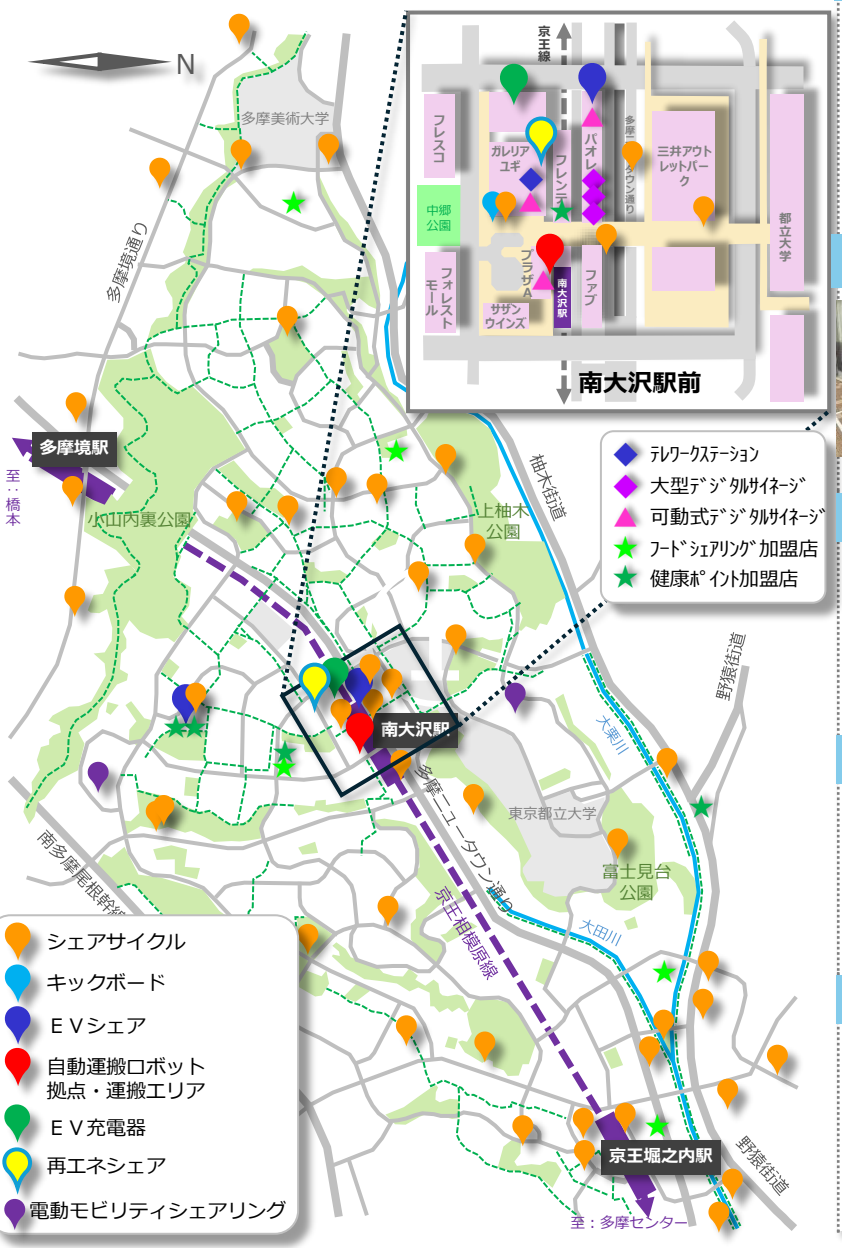


【主体】多摩NT開発センター
【時期】R5.1～
【概要】EV用の高速充電器の貸出
【連携】場所確保、設備整備、運営等

再エネシェアリング　※終了



【主体】多摩NT開発センター
【時期】R4.4～R7.3
【概要】太陽光発電による再エネの利活用
【連携】場所確保、設備整備、再エネ利活用



自動配送ロボット（拡充予定）



【主体】LOMBY
【時期】R5.10～12
R7.5～R8.6
【概要】コンビニ商品のロボットによる自動配送
【連携】コンビニ紹介、団地事業者・警察協議調整

電動モビリティシェアリング（実証）



【主体】WHILL
【時期】R7.９～R8.３
【概要】公社住宅居住者を対象にしたシェアリングサービス
【連携】ポート等の場所貸し・広報・充電対応等

テレワークステーション



【主体】多摩NT開発センター
【時期】R4.4～
【概要】テレワーク用のデスクスペース等の貸出し
【連携】場所確保、施設整備、運営(予約・貸出)

デジタルサイネージ（大型/可動式）



【主体】多摩NT開発センター
【時期】R4.4/R5.2～
【概要】地域情報・モビリティ情報等の広報・発信
【連携】場所確保、整備・運営(コンテンツ作成等)

フードシェア/健康ポイント



【主体】八王子市
【時期】R4.10/R3.11～
【概要】加盟店のフードシェア・健康ポイントサービス
【連携】加盟店の開拓活動、広報連携

令和８年３月時点

南大沢アプリ

- 南大沢スマートシティ協議会では、令和５年度から地域情報アプリの開発に取り組み、令和７年度に南大沢に「暮らす人」「学ぶ人」「訪れる人」の**QOLの向上**とまちのさらなる**にぎわいの創出**を目指して、地域情報やスマートサービス等を**一元的に提供**できるアプリを目的に、地域情報アプリ「南大沢アプリ」を開発しました。

◆基本フレーム

主なターゲット	➢主なターゲットは**地域住民・学生**を基本とする ➢アプリの発信力を高めることで、幅広いターゲットにもリーチできるように発展させていく
対象エリア	➢まずは**南大沢駅から概ね1.5km～2.0km程度の範囲**からスタート
主なコンテンツ・機能	➢**地域情報をまとめて閲覧**できる機能 ➢運営者・登録者が**マップなどに投稿**できる機能
UI・UX	➢**新着情報をメイン**に掲示することにより、サイトの鮮度を印象付ける ➢各方面の情報にアクセスする**メニュー**や**情報源となる外部サイトへのリンク**を設置 ➢コンテンツの性質を踏まえて、**マップ**や**イベントカレンダー**などの機能も検討
運営方法	➢**既存サイトとの連動**や、**地元参加によるローカル情報**の提供などを積極的に活用し、効率的な運営を行うとともに、独自性のあるコンテンツを提供 ➢ユーザーを増やすことにより、将来的には**マネタイズ化**も目指す



◆主な機能

①地域情報をまとめて閲覧できる機能
- ・主要な既存の地域情報サイトの最新情報を一元的に集約し随時更新
- ・生活に必要なその他の情報を網羅

②運営者・登録者がマップなどに投稿できる機能
- ・運営者や予め登録・認定された個人・団体が記事を投稿
- ・投稿記事のうち、位置情報を持つものはマップ、時間情報を持つものはカレンダー等にも反映

地域情報アプリ実施計画より抜粋

これまで取組の総括と今後の展開

南大沢スマートシティ協議会は、令和２年度から６年間、様々なサービスの社会実証等に取り組み、南大沢地区の課題解決を目指すことで、住民・学生・来街者のQOL向上や駅前の賑わい創出に貢献してきました。

これまでの検討や実証の結果、自動配送ロボットなど実装化が進みつつあり、また令和８年度から地域情報アプリが運用開始となるなど、今後は実装したサービスを安定的かつ継続的に実施していく必要があります。さらに、新たなサービスの導入に向けた取組や、都立大学が持つ知見を一層活用するなどにより地域との連携を強化し、実装に向けた取組を加速させていく必要があります。

このように、スマートシティ事業は検討・実証段階から実装段階へ移行していくことから、令和８年度以降、これまでのスマートシティ協議会のネットワークを生かしつつ、スマートサービス事業者に対し、「南大沢スマートサービス連絡会」で円滑に支援等を行っていきます。

今後も産学公の連携のもと、「暮らす人」「学ぶ人」「訪れる人」のQOL向上とさらなる賑わい創出を目指し、南大沢スマートシティの取組を推進していきます。

参　考

関連する行政計画

〇令和元年８月　「TOKYO Data Highway 基本戦略」　公表

・東京都立大学を「５Gの重点整備エリア」として位置付ける。

〇令和元年12月　「未来の東京」戦略ビジョン　公表

・南大沢地区を「スマート東京」先行実施エリア（※）として位置付ける。

（※）５Gと先端技術を活用した分野横断的なサービスの都市実装を先行的に実施していくエリア

〇令和２年２月　「スマート東京実施戦略」　公表

・南大沢を最先端の研究とICT活用による住民生活の向上が融合した持続可能なスマートエリアとして目指していく。

・先端技術を活用したまちづくりの検討として、「協議会の設立」や「実証実験の推進」をしていく。

〇令和３年３月　「未来の東京」戦略　公表

・「地域特性に応じたスマートなまちづくりの展開」において、南大沢地区を「先端技術を活用したまちづくりの検討・実証実験」、「多様な先端技術を社会実装・他地域展開」と位置付ける。

〇令和５年３月　「南大沢駅周辺地区まちづくり方針」　公表

・分野別のまちづくり方針に「先端技術の方針」や「エリアマネジメントの方針」等を位置付ける。

〇令和７年３月　「多摩のまちづくり戦略」　公表

・TAMAニュータウンプロジェクトの先行地区の1つとして、「南大沢スマートシティ」を位置付ける。

〇令和７年４月　「多摩ニュータウンの新たな再生方針」　公表

・先行プロジェクト「南大沢スマートシティ」における将来像、取組の方向性とロードマップを示す。

〇令和８年３月　「多摩ニュータウン実行プログラム」　公表

・先行プロジェクト「南大沢スマートシティ」における取組内容や役割分担、他地域への展開、当面10年間の取組を示す。

協議会等の開催状況

年度	日時	開催概要
令和2年度	10月27日	第１回　協議会
	11月24日	第１回　モビリティ部会
	11月26日	第１回　商業賑わい部会
	11月30日	第１回　情報・その他部会
	12月23日	第２回　情報・その他部会
	12月24日	第２回　モビリティ部会
	12月25日	第３回　商業賑わい部会
	1月25日	第２回　協議会
	2月12日	第３回　モビリティ部会
	2月16日	第３回　商業賑わい部会
	2月19日	第３回　情報・その他部会
	3月　5日	第４回　情報・その他部会
	3月10日	第４回　商業賑わい部会
	3月15日	第４回　モビリティ部会
	3月14日～3月18日	実証実験
	3月19日	第３回　協議会
令和3年度	7月　5日	第１回　協議会
	7月28日	第１回　情報・その他部会
	8月　3日	第１回　モビリティ部会
	8月24日	第１回　まちの賑わい部会

年度	日時	開催概要
令和3年度	10月　4日	第２回　情報・その他部会
	10月　8日	実施計画Ver１　公表
	10月11日	第２回　モビリティ・まちの賑わい合同部会
	10月25日	第２回　協議会
	10月28日	第３回　情報・その他部会
	11月　1日～11月30日	イベント「めぐって遊んでトクして南大沢を楽しもう！」
	11月17日	第４回　情報・その他部会
	11月30日	第５回　情報・その他部会
	12月24日	第３回　モビリティ部会
	12月24日	第３回　まちの賑わい部会
	1月25日	第６回　情報・その他部会
	2月　4日	第３回　協議会
	2月17日	第４回　モビリティ・まちの賑わい合同部会
	3月　1日	第７回　情報・その他部会
	3月11日	第４回　協議会
令和4年度	5月31日	実施計画Ver２　公表
	8月　8日	第１回　協議会
	9月　7日	第１回　モビリティ部会
	10月　3日	第１回　情報・その他部会

協議会等の開催状況

年度	日時	開催概要
令和4年度	10月 6日	第１回　まちの賑わい部会
	11月 4日	第２回　協議会
	11月25日～12月 2日	「南大沢スマートシティウィーク」
	1月17日	第２回　情報・その他部会
	1月24日	第３回　モビリティ部会
	1月25日	第２回　まちの賑わい部会
	2月 2日	第３回　情報・その他部会
	2月10日	第３回　協議会
	2月21日	第３回　まちの賑わい部会
	2月27日	第４回　モビリティ部会
	2月28日	第４回　情報・その他部会
	3月 8日	第４回協議会
令和5年度	5月19日	実施計画Ver３　公表
	7月31日	第１回　協議会
	9月27日	第１回　合同部会
	10月20日	第２回　協議会
	11月19日	南大沢スマートシティFES.2023
	12月 1日	第２回　合同部会
	12月15日	第３回　協議会
	2月 2日	共創ラボ

年度	日時	開催概要
	2月 7日	第３回　合同部会
	3月 1日	第４回　協議会
令和6年度	8月 9日	第１回　協議会
	10月31日	プレリビングラボ（地域情報アプリ）
	11月11日	第２回　協議会
	11月30日	共創ラボ（モビリティ体験会）
	2月 6日	共創ラボ（地域情報アプリ）
	3月 6日	第３回　協議会
令和7年度	6月30日	第１回　協議会
	11月28日	第２回　協議会
	12月19日	第１回　共創ラボ（地域情報アプリ）
	2月28日	第２回　共創ラボ（地域情報アプリ）
	3月10日	第３回　協議会

南大沢スマートシティ協議会委員名簿（令和8年3月現在）

座　長	清水 哲夫	東京都立大学都市環境学部 観光科学科教授
委　員	石川　博	東京都立大学システムデザイン学部 情報科学科特別先導教授
委　員	岡村　祐	東京都立大学都市環境学部 観光科学科准教授
委　員	東京都都市整備局多摩ニュータウン事業担当部長	
委　員	東京都都市整備局先端技術調整担当部長	
委　員	東京都デジタルサービス局つながる東京整備担当部長	
委　員	東京都総務局都立大学調整担当部長	
委　員	東京都公立大学法人東京都立大学管理部長	
委　員	八王子市都市計画部長	
委　員	八王子市産業振興部長	
委　員	八王子商工会議所副会頭	
委　員	三井不動産株式会社商業施設・スポーツ・エンターテインメント本部商業施設運営二部長	
委　員	京王電鉄株式会社開発事業本部沿線価値創造部長	
委　員	株式会社イトーヨーカ堂店舗管理部スタッフ	
委　員	株式会社多摩ニュータウン開発センター 代表取締役社長 (「元気な街」南大沢協力の会会長)	
委　員	NTTドコモビジネス株式会社BS本部第二BS部 第七G担当部長	
委　員	KDDI株式会社経営戦略本部経営企画2部グループリーダー	
委　員	ソフトバンク株式会社渉外本部渉外企画部長	
委　員	NTT東日本株式会社ビジネスイノベーション本部 社会基盤ビジネス部長	
委　員	富士通Japan株式会社Public & Education事業本部 東京都ユニット シニアマネージャー	
委　員	独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部 多摩エリア経営部 団地マネージャー	
委　員	株式会社ベスプラ代表取締役CEO	
委　員	東京都住宅供給公社住宅総合企画部住宅再生推進担当部長	
ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	小根山　裕之	東京都立大学都市環境学部 都市基盤環境学科教授
ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	相原　健郎	東京都立大学都市環境学部 観光科学科教授
事 務 局	株式会社多摩ニュータウン開発センター 事業推進本部営業課	



MINAMI-OSAWA
SMARTCITY
PROJECT
南大沢スマートシティ協議会

令和8年3月

南大沢スマートシティ協議会

イメージ：スマートサービスを活用したQOLの向上（AI Generated）